

公有水面埋立法案委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十年三月一日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

- 小山田信藏君 土屋 興君 栗林 五朔君
高橋長七郎君 廣瀬 鎮之君 樋口伊之助君
松山常次郎君 毛里保太郎君 高木第四郎君
磯田三郎君 吉原祐太郎君 淺石 惠八君
高木 正年君 岡本 幹輔君 吉川吉郎兵衛君
淺野 順平君 高柳覺太郎君 南 鼎三君
同月二日午前十時五十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

- 小山田信藏君 栗林 五朔君 高橋長七郎君
廣瀬 鎮之君 松山常次郎君 毛里保太郎君
高木第四郎君 吉原祐太郎君 淺石 惠八君
高木 正年君 岡本 幹輔君 吉川吉郎兵衛君
淺野 順平君 高柳覺太郎君
年長者淺野順平君投票管理者トナル

投票管理者(淺野順平君)ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

松山常次郎君ハ投票ヲ用キス小山田信藏君ヲ委員長ニ、松山常次郎君高柳覺太郎君及南鼎三君ヲ理事ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス

投票管理者(淺野順平君)ハ松山君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ小山田信藏君ハ委員長ニ、松山常次郎君高柳覺太郎君及南鼎三君ハ理事ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(此ノ時投票管理者退席シ小山田君委員長席ニ著ク)

委員長(小山田信藏君)ハ引續キ會議ヲ開クヘキ旨ヲ宣告ス

會議

出席政府委員左ノ如シ

- 內務次官 小橋 一太君
內務省土木局長 堀田 貢君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

公有水面埋立法案

○委員長(小山田信藏君) 是ヨリ開會致シマス、質問ニ先チマシテ政府ノ本案ニ對スル詳細ナル説明ヲ聽キマシテ然ル後質問ニ移ラウト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○小橋政府委員 本案提出ノ理由ハ本會議ニ於テ內務大臣ヨリ極ク大體ノ説明ハアリマシタノデアリマスガ、尙ホ法文全體ニ涉ッテノ主ナル要項ヲ此場合ニ説明シ、併セテ提出ノ理由ヲ補足致シテ置カウト思ヒマス、昨日提案ノ際內務大臣ヨリ其理由ヲ説明致シマシタル通り、現行法ハ公有水面埋立ニ關シマシテハ至テ不備デアリマス、即チ明治二十三年ノ勅令デ、官有地取扱規則中ニ僅ニ一箇條アルノデアリマス、其條文ハ「官ニ屬スル公有水面ヲ埋立テ民有地トナサン事ヲ乞フ者アルトキハ公衆ノ妨害トナラサル部分ニ限り之ヲ許ス事ヲ得」ト云フ一箇條デアリマス、ソレデ內務省ニ於テハ其不備ヲ補正スベク訓令等ヲ以テソレレ、取扱手續等ヲ拵、今日マデヤッテ參リマシタケレドモ、如何ニモ規定ガ不備不完全デアリマスカラ、其企業ノ圓滑ニ行ハル、事モ困難デアリマス、殊ニ埋立區域内ニ他人ノ權利ガ存在シマス場合ニハ、一々其權利者ノ同意承諾ヲ得ルニ非ザレバ埋立ヲ爲ス事ガ出來ナイト云フヤウナコトニナツテ居リマスカラ勢ヒ、シテ有利有益ナル所ノ埋立事業モ、埋立區域内ニ於ケル所ノ既設ノ權利ノ爲ニ、遂ニ阻碍サレテ出來ナイ、若シ然ラズバ不相當ナル冗費ヲ負擔シナケレバナラヌト云フノデ、經濟上有利ナル事業モ國家公益ノ事業モ遂行出來ナイト云フ事モ、現行ノ規定ノ不備ノ爲メニアリマス、港灣河川等ノ公共ノ利益ト密接ノ關係ヲ有スル場所ニ於テ埋立ヲ爲サント致シマス場合ニハ、其埋立成功後ニ於テ埋立ノ所有者ガ埋立地ノ利用方法ニ關シテ特別ノ義務ヲ負擔スル必要ガアリマス、サウ云フ場所所柄ヲ埋立テタ場合ニ於テ、埋立成功後ニ於テ所有者

ノ公共ノ目的ノ爲メニ、其土地ヲ利用セラル、ヤウニ制限ヲ付ケテ置ク必要ガアルカラシテ、今日ノ法規ノ下ニ於テハ、其權利ハ他人ニ移ッテ第三者ニ移ッテ場合ニ於テ、其權利ヲ繼承セシメテ其公共ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイヤウナ缺點モアリマス、是ハ今日ノ現行法ノ大ナル缺點ノ一例デゴザイマスガ、其他ノ點ニ於テ尙ホ不備ノ點モアリマス、而シテ一面ニハ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、埋立計畫ヲ希望スル者ガ近年著ク増加致シマシタ、最近十箇年ニ於テ免許ヲ與ヘタ者ニ就テ取調ベテ見マスルニ大正七年ニ於テハ其埋立地積ガ明治四十二年ヨリモ其面積約八倍ノ多キニ達シテ居ルヤウナ状態デアリマス、サウ云フ風ニ埋立ノ希望ガ日ニ益々盛ニナルト同時ニ、一面ニハ食糧問題ノ解決上カラ申シテモ、海面ヲ埋立テ、耕作地ノ造成ガ必要デアルノミナラズ、尙ホ都市附近ニ於テハ公園設備用地、或ハ工場用地、或ハ住宅用地等ヲ造成致シマシテ、此國家ノ發展ノ上ニ資スル事ガ必要デアリマス、サウ云フ點カラシテ今日ノ場合完全ナル法規ヲ制定致シマシテ、此企業ノ遂行ヲ容易ナラシムルト云フ事ハ最モ必要ナ事ト存ジマシテ、此戰後ノ經濟政策上カラ申シテモ、此事ハ滑カニ行ハレル事ヲ希望シテ、此一定ノ法規ヲ提案シタ次第デアリマス、而シテ本法案ノ條文ハ四十九箇條及附則カラ成立ッテ居リマス、其各條文ノ主ナル事項ヲ申シマスレバ、先ヅ第一ニ第一條ニ於キマシテ、公有水面ノ意義ヲ明ニ規定致シマシテ、本法ノ適用スベキ埋立範圍ヲ明ニ致シマシタ、ソレカラ從來干拓ト云フコトヲ埋立ト取扱フ異ニシテ居リマシタカナルドモ、其結果ニ於テ殆ド同ジ事デアリマスカラ、之ヲ別ニスル必要ハナイト云フ見地カラ、今回ハ干拓モ埋立ト看做シテ、本法ノ適用ノ範圍内ニ入レタノデアリマス、次ニ埋立免許ノ手續デゴザイマスガ、是ハ從來モ地方長官ノ職權ニ基イテ、其適當ナリト信ズル處ニ許可ヲ與ヘルヤウニ致シテ居リマシタカラ、其慣例ヲ襲ヒマシテ、矢張地方長官ノ職

權ニ許可權ヲ置イタノデアリマス、次ニ埋立區域内ノ公有水面ニ關シマシテ、權利ヲ有スル者ガアル場合ノ規定モアリマス、是ハ前ニモ申シマシタ様ニ、埋立ヲ爲サントスル區域ニ於キマシテ、漁業權其他ノ權利ガ存在スル場合ニ於テハ、埋立企業者ガ是等ノ權利者ト協定ヲナサナケレバ、今日ハ其事業遂行ガ困難デアリマスケレドモ、一面カラ埋立企業ノ利害ノ大小ヲ考慮致シマス、既ニ存在スル權利ニ對シテノ損失ト、埋立ノ利益ト比較致シマスレバ、埋立ノ方ガ經濟上カラ又公益上カラ考ヘテモ、最モ重大デアル場合ニハ、ソレハ埋立ヲ許ス方ガ宜シイト云フコトデアリマスガ、ソレハ今日法規ガナイカラシテ、其實行ガ困難ニナツテ居リマスカラ、ソレヲ補充スル爲メニ、本法第四條ニ於テ其場合ノ規定ヲ致シタノデアリマス、其次ニ埋立區域内ガ、權利デハナイガ其公有水面ニ接續スル所ノ人ガ或ル施設ヲシタ、或ハ下水ヲ流ス放流溝トカ、或ハ水面ニ向テ階段ト云フヤウナ設備ヲシタ、其設備ニ對シテノ保護救済ノ途モ必要デアアル、ソレニ對スル規定モ致シタノデアリマス、即チ既存ノ權利利益ト、埋立企業トノ利害關係ノ調和ヲ圖リマシテ、企業ノ遂行ヲ圓滿ナラシムル爲メニ、第四條乃至第十條ニ於テ適當ナル規定ヲ置イタノデアリマス、次ニ埋立免許料ノ徵收ノ途ヲ開イタノデアリマス、是ハ第十二條デアリマス、從來埋立ニ付テハ免許料ハ徵收シテ居リマセス、然ルニ一面海面ノ干拓、水面ノ干拓或ハ公有水面ノ占用ト云フ様ナ場合ニハ、干拓料占用料ヲ徵收致シテ居リマシタカラ、ソレト比較對照致シマシテ、埋立ニ依ツテ得ル所ノ利益ガ大ナル場合、特ニ大ナル場合ニ於テハ、其企業者ヨリ相當ナル所ノ免許料ヲ徵收スルコトガ適當ナリト考ヘマシテ、第十二條ニ免許料徵收ノ途ヲ開イタノデアリマス、次ニ第十四條ニ埋立免許ヲ受ケタル者ニ埋立工事ノ實行上ノ便宜ヲ與フル爲メニ他人ノ土地ニ立入ル、又ハ土地ヲ使用スルノ途ヲ開キ、其次ニ於テハ埋立權利ノ讓渡繼承ト云フ事、所謂權利ノ轉々ノ途ヲ法律ヲ以テ與ヘタ、是ハ從來モ其通リニナツテ居ルノヲ、法文で明カニ致シタノデアリマス、ソレカラ第十二條及第二十四條ニ於

テ、埋立工事ガ竣工ヲ致シマシタトキニハ、竣工認可ヲ受ケシメテ、公用又ハ公共ノ用ニ供スル爲メニ必要ナル部分ヲ除キマシタ外ハ、總テ埋立免許ヲ受ケタル者ヲシテ、埋立地ノ所有權ヲ限地的ニ所有セシムル途ヲ明カニ規定致シマシタ、第二十七條乃至第三十條ニ於テ公共ノ利益ト密接ナル關係アル場所ヲ埋立ルトキノ規定ヲ設ケマシタ、即チ港灣河川海峽及ビ其附近等ニ於テ埋立ヲ致シマス場合ニ於テハ、公益上ノ必要カラシテ其埋立地ヲ特定ノ目的ニ供セシメ、又ハ特別ノ義務ヲ課スルヲ要スルコトガアリマス、然ルニ從來ハ前モ申シマシタヤウニ、之ニ對スル所ノ完全ナル法規ノ根據ガアリマセヌカラシテ、其條件其義務ヲ負ハスルコトガ缺ケテ居リマシタ、隨ツテ本法二十七條ニ於テ其規定ヲ設ケマシテ、埋立地ニ關スル權利ノ設定讓渡ニ就テハ、免許條件ヲ以テ地方長官ノ許可ヲ受クベキ旨ヲ定メ、其處分ノ制限ニ就テハ、登記シテ第三者即チ他人ニ對抗スル途ヲ開イタノデアリマス、其次ニ無願埋立所謂免許ヲ受ケズシテ埋立ヲ爲シタル場合ヲ第三十六條ニ規定致シマシタ、是ハ從來勅令等ニハ何等ノ規定モアリマセヌデシタ、唯ダ從來ハ府縣令ニ定メテ居ッタノデアリマシテ、此無願埋立ノ場合ハ、官沒處分ヲスル、所謂沒收ヲスルニ止マツテ居ッタノデアリマス、併ナガラ官沒スルノミデハ尙ホ未ダ不十分デアリマスカラ、場合ニ依ツテハ公益上支障ガアルトキハ、其原狀回復ヲ命ズル途ヲ開キ、又強テ原狀回復ノ必要モナク官沒處分ノ必要モナイトキハ、相當ノ條件ノ下ニ之ヲ追認スルノ途ヲ開イタノデアリマス、即チ第三十六條ノ規定ハソレデアリマス、其他必要ナル所ノ取締方法或ハ罰則、ソレカラ救済手段、其他處分ニ對スル所ノ訴願、訴訟ノ途ヲ詳細ニ規定シタノデアリマス、大體本法制定ノ主ナル要項ハ以上ノ十一箇點デアリマス

○高木正年君 此法案ハ簡條ガ極メテ多ウゴザイマス、隨テ他ノ法律トノ關係上疑義ヲ有スル所モ幾多ナル様ニ思ヒマスガ、先ヅ第一ニ今内務次官ガ御話ニナリマシタ中ノ國有ト云フ國ノ所有ニ屬スルト云フ公有水面ノ定義ニ付テ、少シク只今ノ御說明デハマダ完全シナイ所ガアリマス、一應立法ノ趣旨ヲ確メル爲メニ記錄ニ存シテ置キタイト思ヒマスカラ御尋シマス公共用ニ供スル水面即チ公有水面トアリマス、内海若クハ港灣等ニ於ケル水面ハ所謂國ノ所有ニ屬スルモノト何等疑點ナク認メラレルノデアアルガ、港灣ニアラズ内海ニアラズシテ、例ヘバ千葉縣ノ海岸ノ如キモノニ就キマシテハ、ドレダケノ幅ヲ國ノ所有ニ屬スル水面トスルカ、所謂帝國ノ領海ナルモノノ幅ハ矢張公有水面ト見ルノデアラウト思ヒマスガ、此邊ニ就テ立法上未ダ確タル主義ガナイヤウト思ヒマス、是ハ多少將來ニ於テ確メ置クベキモノト思ヒマスガ、先ヅ第一點ニ此事ヲ伺ツテ置キマス

○堀田政府委員 只今ノ御尋ニ對シテ、本法ヲ起草スルニ付テ當局ガ考ヘテ居リマシタ點ヲ御答トシテ申上ゲタイト思ヒマス、公有水面ノ意義ト申シマス力、先ヅ公有水面ト云フモノハ、公共ノ用ニ供スル水流又ハ水面デアルト云フコト、及ビ國ノ所有ニ屬スルト云フコト、此二要件ヲ備ヘルモノヲ云フ考ヘデアリマス、此公有水面ト云フ言葉ハ先程次官カラ申上ゲマシタ官有地取扱規則第十二條、官ニ屬スル公有水面ト云フ文字ガアリマスガ、此文字ヲ踏襲シタモノデアリマス、公有水面ノ意義ニ就テハ從來ハ右ノ官有地取扱規則ニ於テ、公共ノ用ニ供スル水面ヲ公有水面ト稱シテ來テ居リマス、是ハ明治二十六年ニ出シマシタ内務省訓令等ニモ、其意義ニ依ツテ用キテ參リマシタ、然ラバ、公共ノ用ニ供スル水面ト云フモノハドウ云フ水面ヲ云フノデアアルカト云フコトニナリマス、是ハ現ニ公衆一般ガ使用ヲシテ居ルモノハ勿論ノ事、其使用ガ禁止セラレ居ラザル水面又ハ水流ヲ云フノデアリマシテ、漁業法第三條ニ於テモ此公共ノ用ニ供スル水面ト云フ字ヲ用キテ居リマスガ、矢張此法案モ所謂公有水面ヲ指シタモノニ外ナラズト考ヘテ居リマス、國ノ所有ニ屬スルモノト云フコトハ、ドウ云フコトカト申シマス、是ハ官有地取扱規則ニ所謂官ニ屬スルト云フ文字ガアリマスガ、ソレト同一義ト解シテ居ルノデアリマス、尙ホ御尋以外ノ様デアリマスガ、河川法ノ適用ノ河川ニ就テ、其敷地ハ是ハ所有權ヲ認メテ居リマセヌカラ、

隨テ國ノ所有ニ屬スルモノト云フコトハ出來マセヌ
ノデ、本法ノ適用ノナイコトハ固ヨリデアリマス、而
シテ此公共ノ用ニ供スル水面ノ範圍ト云フコトニ就
テハ、其場合々々ニ依ッテ判斷ヲ下スヨリ外アリマセ
ヌガ、先ヅ只今ノ御尋ノ内海ノミナラズ、普通國際關
係等ニ於テハ、領海ト稱シテ居リマスルガ、其範圍ハ
無論此公共ノ用ニ供スル水面ト云フ中ニ含マレテ居
ルモノト解シテ居ルモノデアリマス、尙ホ詳シク申
シマスレバ、從來ノ取扱ニ於キマシテ、又一般ノ是ガ
解釋トシテ今日マデ用キラレテ居ル事柄デアリマス
ルガ、此滿潮時ニ海水ノ來タル所カラ領海内ハ悉ク
之ヲ公有水面ト稱スベキモノト考ヘテ居リマス
○高木正年君 滿潮時海水ノ來タルト云フコトガ、
ハッキリ分リマセヌガ、
○堀田政府委員 詰リ滿潮ノ時ニ海水ノ來ル場所カ
ラ領海ヲ指シタノデアリマス、是ハ海ノコトデ申上
ゲタノデアリマスガ、其外湖水、沼等ニ於テモ、今ノ
公共ノ用ニ供シテ居ル水面デ國有ニ屬シテ居ルモノ
ガアリマスレバ、是ハ本法ノ所謂公有水面ト稱スル
中ニ含マレルモノト解シテ居ルノデアリマス
○高木正年君 只今文字ノ上デ御解釋ニナリマシタ
事ハ、私共モサウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、實際上
ノ問題ニ就テ、マダ少シクハッキリシナイ點ガアルノ
デアリマス、實ハ國有財産調査會ナドデモ、公有水面
ヲ矢張國有ト見テ居ル解釋ヲ取ツテ居ル、現ニ内務次
官モ立會デ調査會ナドヲ開カレタコトヲ承知致シテ
居リマス、併ナガラ果シテ國有財産デアルトスルナ
ラバ、國有財産臺帳デモ御造リナル時分ニ、ドレダケ
ノ水面ヲ國有トシテ認メルカ、所謂内海等ニハ疑問
ハナイ、河川等ニ就テハ、疑問ハナイガ、太平洋ニ面シ
タ日本海ニ面シタ各海岸ニ於テハ、幾許迄ノ距離ヲ
公有水面ト云フコトニナルノデアリマスガ、公有水
面ト云フヨリモ國有水面トスル方ガ適當デアアル
ト思ハレルガ、此事ハ立法上今日迄ハハッキリシテ居
リマセヌ、ソレ故ニ此水面埋立ノ立法ヲ見テ、出來得
ルナラバ此邊ノ事ヲハッキリシテ置キタイト存ジテ
御尋シタノデ、文字ノ上カラ土木局長ノ仰シヤッタコ
トハ私共モ左様ニ考ヘテ居リマスガ、實際ニ於テハ

マダハッキリ致シマセヌ、内海、河川、其他國有ニ屬ス
ル池沼等ニ就テハ、無論問題ニナリマセヌ、内灣デナ
ク、港灣ニナツテ居ラヌ所ノ海岸ノ幅ハ、ドノ邊迄御
認ニナルト云フコトヲ、ハッキリ仰シヤルコトガ出來
ナケレバ、出來ナイデ宜シウゴサイイマスガ、此邊ハ立
法ニ就テ何カ解釋ガ決ツテ居リマスガ
○堀田政府委員 大體國際法等デ領海ト云ツテ居ル
區域ヲ指シテ居ル考デアリマシテ、國際法等ニ於テ
ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、春分秋分
ノ干潮ノ水陸分界ヨリ三哩ト云フ事ヲ一般ニ言ツテ
居リマス、併シ公有水面埋立法及ビ從來ノ官有地ノ
取扱合ニ於テハ、干潮ノ水陸分界ヨリ、寧ろ滿潮ノ水
陸ノ分界カラ計算スルコトニ致シテ居リマス、詰リ
春秋二期ニ於ケル最滿潮ノ水陸分界ヨリ三哩ト云フ
コトニ御心得ニナツテ宜カラウト思ヒマス
○高木正年君 滿潮ノ水陸分界デスカ
○堀田政府委員 公有水面埋立法デハ、最滿潮時ノ
三哩トナツテ居リマス
○高木正年君 三哩デスカ
○堀田政府委員 サウデス
○高木正年君 是レ以上ハ唯ダ無益ナ問答ニナリマ
スカラ申シマセヌガ、從來水面埋立ハ或一定ノ坪數
限リニシテ、ソレ以上ハ、内務大臣ガ直接御處分ニナ
ルト云フ事ノ決メニナツテ居リマスガ、今度立案ニナ
リマシタ此法律ニ依リマス、悉ク府縣知事ニ委任
シテアル、此事ハ果シテ當ヲ得テ居ルヤ否ヤト云フ
事ハ、議論デアリマスルカラ申シマセヌガ、從來ノ例
ニ依リマスルト、矢張現在行ハレテ居ル制度ノ方ガ
宜シイヤウニ思ヒマス、偶ハ地方廳ガ時ニ依リマシ
テハ、情實ニ供セントスル弊モアルノデアリマス、現
ニ其一例ヲ申シマスレバ、赤坂ノ例ノ辨慶橋附近ノ
埋立問題デ、東京府知事ハ絕對ニ許可スルト云フ、然
ルヲ市ノ公益ニ關スルト云フノデ、内務省ノ問題ニ
ナルコトニナツテ到頭此埋立ハ廢メニナツタノデアリ
マス、是等モ今度ノ新法ニ依ッテ府縣知事單獨許可
シ得ラル、コトニナリマスレバ、必ズヤ何等カ弊害
ヲ起スコトニナリハシナイカ、何故ニ今度ハ總テヲ
府縣知事ニ御許シニナル御立法ニナリマシタカ、是

ハ從來ノ經驗上何カ斯ウシナケレバ、行政上差支ヲ
生ズルト云フ憂デモアルノデスカ
○小橋政府委員 ソレハ曩ニ説明シマシタ通り、從
來ト變ツテ居リマセヌ、從來モ海面埋立ノ許可ハ全部
地方長官ノ權限デアリマス、或ハ内務大臣ノ監督上
ノ權限トシテ、一定ノ地積以上ノモノハ内務大臣ノ
認可ヲ受ケテ許可セヨト云フコトニナツテ居ルノデ、
其權限ハ矢張地方長官ノ權限デアリマス、尙ホ將來
モ大體其方針デ行ク積リデアリマス
○堀田政府委員 只今ノ次官ヨリノ答辯ヲ補足シテ
置キマスガ、現在ト雖モ許可ヲスル主體ハ府縣デア
リマス、單ニ訓令ヲ以テ或坪數以上ノ場所モ、或ハ坪
數ノ少ナイ小面積ノ所モ、府縣知事ヨリ内務大臣ニ
稟申シテ、内務大臣ガ各方面ノ事情ヲ調査シマシテ
差支ナイト認メタル場合ニ、初メテソレヲ認可シ、其
認可ノ指令ニ基イテ府縣デ許可處分ヲナシテ居ルノ
デアリマスガ、今回ハ府縣知事ガ許可權ヲ持ツト云
フ事ハ、是ハ原則トシテ從來ト同ジク取ツテ居リマス
ガ、更ニ一方ヲ進メマシタ點ハ本案ノ四十七條ニ「本
法ニ依リ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ、勅令ノ定ム
ル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケシムルコトヲ得」
ト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、今マデハ單ニ訓
令ニ依ッテ稟申セシメ、ソレニ基イテ許可處分ヲシテ
居ツタノデスカラ、亂暴ナル府縣知事ガアツテ、稟申セ
ズシテ許可シタ場合モ法律上無効ニハナラナカッタ
ノデアリマス、内輪ノ監督關係デアリマシタガ、今回
ハ明ニ之ヲ勅令ニ依ッテ其等ノ規定ヲスル考デアリ
マスカラ、今後ハ稟申セズシテ許可シタト云フコト
ガアリマスレバ、是ハ違法ノ處分トシテ無効ノ結果
ヲ來タスコトニナリマスカラ、從來ヨリハ其等ノ監
督ガ十分徹底シテ行ハレルコトト考ヘマス
○高木正年君 只今局長ノ御答辯ニ依リマシテ
勿論其四十何條ハ絕對的ノモノデナク、地方長官ハ
必ズシモ内務大臣ノ認可ヲ經ズトモハ受ケシムル
コトヲ得ト云フノデ要スト云フ意味ニナレバ、局長
ノ只今言ハレルヤウニハハッキリシテ來ルノデスカ、其
點ニ疑ガアツテ御尋シタノデアリマスガ、此點ハ尙ホ
勅令ニ依ッテ必ズサウ云フコトノ御規定ニナルト云

フコトデアレバ、總テ此事ニ就テハ御尋致シマセヌ、更ニ御尋シマスノハ漁業法ト此法案トニ多少軋觸スル箇所ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、此立法ハ内務省ノ御苦心ノ跡ハ歴々トシテ見エマスノデ、主トシテ權利ヲ保護スル目的ニナツテ居リマスガ、其權利ナルモノガ必ズシモ設定サレマセヌデモ、極メテ多人數ノ利害關係ヲ有スルモノデアツテ、一々權利ノ設定ガナクとも水面ノ事、就中漁業ノ如キハ慣行カラ來ルヤウナコトガ多イ、漁民自身ガ地先水面ヲ占用スル場合モアリ、占用シナイ場合モアルガ、兎ニ角多人數ノモノガ其地ヲ稼ギ地トシテ居ル場所ガ、埋立テノ爲メニ被害ヲ受ケル時分ニハ、受ケル權利ノ利益ガ、損害ヲ受ケタルモノヨリ多イトキハ、許可スルコト云フ取除ケノ規定モアリマスガ、要スルニ權利保護ニ付テ其權利ノ設定ハナイガ、併シ多人數ノ稼ギ地トシテ居ル所ニ對シテ、若シ業務ヲ阻礙サル、ヤウナ行動ガ起ツタ時分ニ、此法條ニ於テハ之ヲ救済スル簡條ガ無い、漁業法ニハ公益ト云フ文字ガアル、此法案ニハ公害ト云フコトハアルガ、公益ト云フ文字ガ無い、今其實例ヲ申シマス、埋立ラシタ爲メニ前後ノ水面ニ於ケル潮流ヲ害サレル、漁業法ニ依レバ魚族ノ遡河ヲ妨グルモノニ對シ、或ハ公有地ノ或ル場所ニ依ツテハ埋立ラシテ積極的ニ制限シテアル、兎ニ角今申上ケルヤウナ權利ハナイガ埋立ノ爲メニ損害ヲ受ケルモノガアル、地先水面ノ占用ナドハ、許可シテ居ル所モアリ、許可シナイ所モアル、東京府ノ如キ入會ガ混雜シテ居ル結果、面倒ガ起ルト云フヤウナコトデアアルガ、許可サレテ居ラヌガ事實上ハ地先占用ト同ジヤウナ状態ニナツテ居テ、稼ギ場トシテ數万人ガ其所ニ生活ヲシテ居ル、其中間ニ埋立ガ出來ルト、水ノ上ニ當ル部分モ其所デ水ガ支ヘ、下ニ當ルモノハ陸ニ隱レ養殖業ノ如キ一般魚族ノ繁殖ヲ害シマスカラ、多大ノ損害ヲ受ケル、斯様ナモノニ對シテハ判然ト御規定ガナケレバナラヌノデ、勿論埋立ラ出願シタ場合ニハ公共團體ノ意見ヲ聽ク、其市町村ノ意見ヲ聽クトアリマスガ、必ズシモ市町村ノ意見ト漁村ノ意見トハ一致シナイ場合ガアル、僅カナ部分ガ海ニ出テ居ルヤウナ町村デハ、山

手ノ方ガ多クシテ、海ニ出テ居ル漁村ト其全町村ノ利害關係ガ伴ハナイ場合ガアル、或ハ其全町村ガ宜イト云ウテモ、僅カナ漁村ノ利益ヲ總テ奪ハル、コトガアル、ソレ故ニ今申上ケタ如ク權利ハ無イケレドモ、其埋立施設ノ爲メニ前後左右ト分ケラレ、水道ヲ塞グトコロカラ魚族ノ繁殖ヲ妨グルコトニナル、斯様ナ事ニ對シテハ、何等此法律ハ保護シテ居ラヌト思ヒマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○堀田政府委員 此第四條ニ「地方長官ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域内ニ施ケル公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者アルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外埋立ノ免許ヲ爲スコトヲ得ス、トアリマスガ、是等ノ各號ノ一ニ該當スル場合ト雖モ、他ノ理由ニ依ツテ免許ヲ許否スルコトハ固ヨリ妨ゲナイノデアリマス、御承知ノ如ク埋立ノ免許ハ裁量處分デアリマスノデ、公益上必要ナル免許處分ノ出來ルコトハ當然デアリマスガ、サウ云フ場合ニハソレノ免許處分ヲ以テ救済ノ方法ヲ規定スルコトモ出來ルノデアリマス、例ヘバ私人ガ埋立ニ依ツテ著シキ損害ヲ蒙ル場合ニ於テハ、ドウ云フ施設ヲセヨ、又ドウ云フ補償ヲセヨト云フコトヲ、此以外ニ命ズルコトガ出來ルノデアリマス、斯ウ云フ條件ガ備ツテ居レバ許スト云フコトヲ、許ストシテモソレノ公益上適當ト云フ條件ヲ附ケテ許ストデアリマスカラ、サウ云フ場合ノ救済ヲ圖ルコトガ出來ルノデアリマス

○高木正年君 只今土木局長ノ申サレタ様ナ頭デ、總テノ地方長官ガアレバ宜シイガ、必ズシモ確定シタル權利デナイ場合ハ、今土木局長ノ言ハレタヤウナ風ニ、地方長官ガ讀マナイ場合ニハ困ルノデアリマス、一例ヲ申セバ府縣ノ水上ノ規定ノ中、縣令ニ依ツテ滋賀縣ノ如キ保護區域ヲ設ケテ居ルノデアリマス、即チ琵琶湖ニ於テタテボシト云フ漁業ノ如キ一定ノ幅ヲ以テ保護區域ヲ定メテ、水路ト分ケテ之ヲ阻礙シナイヤウニシテ居リマス、併シ是ハ府縣ニ依ツテ其保護區域ヲ定メテ居ルモノモアリ、又ナイモノモアリマス、定置漁業ニ對スル保護區域ノ如キモ區々デアツテ、今土木局長ノ御説明ノ如ク心得テ吳レバ宜シイガ、左モナイト云フト是ガ損害ニ對シ訴

願ノ途ガナイノデ、行政裁判所トカ普通ノ裁判所ニ訴ヘテ判決ヲ受ケラレナイノデアリマス、デドウシテモ此埋立法ノ上ニ於テ權利ヲ認ムルト同時ニ、權利ノ設置ハナイガ損害ヲ受ケルモノガアル、斯ウ云フ場合ハ矢張同一ノ補償ヲ受ケ、若クハ補償ヲ受ケル程ノ程度ノモノハ埋立ノ時分ニ許可スルコトハ出來ヌト云フ規定ガナケレバ、此法文ハ不備デハナイカト思ヒマス、此法文ノ不備ナル點ニ付テハ意見ノ提出モ出來マスガ、一應此立法上ニ付テ其邊ノコトヲ御考ニナツテ居ルカ居ラヌカヲ確メル爲メニ、今一度伺ツテ置キタイト思ヒマス

○堀田政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ、第十條デ救済ガ出來ヤウカ知ラント考ヘテ居ルノデアリマス、詰リ本條ハ埋立ニ依リ他人ノ設ケタル公有水面利用ノ施設ガ其效用ヲ妨ゲタル場合ハ地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其施設ヲ爲シタル者ニ對シ之ニ代ルベキ施設ヲクハ其效用ヲ保全スル爲メニ必要ナル施設ヲ爲サシメ、又損害ノ全部若クハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマスカラ、只今御説ノ如キ場合モ公利公益ヲ念トスル地方長官デアツタナラバ、必ズ補償ノ途ヲ講ズルコトニスルト思ヒマス

○高木正年君 命令案ハ既ニ御造リニナツテ居リマスカ、若シアレバ後トデ御廻シテ願ヒタイ

○堀田政府委員 マダ未確定デアリマス

○高木正年君 ソレカラ法文中ノ中デ或ハ體裁ト云フカドウカ一寸伺ツテ見タイ、ソレハ初メノ簡條ノ其他勅令ニ依ル云々デアリマス、耕地整理ノ場合ト思ヒマスガ、此勅令ハ耕地整理ナラ耕地整理ノ補充命令トシテ、耕地整理法ガ委託シタル意味ニ於テ、發令シタル勅令ヲ指スノデアリマス、ソレトモ單獨ニ法律ノ下ニ立ツベキ勅令デアルト、所謂命令ニ依ツテ法律ヲ改メルコトハ出來ヌト云フ原則ニ矛盾致シマスカ、其他勅令ト云フノハドウ云フ勅令ヲ指シテ居ルノデアリマス、水面埋立法ガ命令ニ依ツテ始終動カサルコト云フコトハ甚シキ矛盾ト思ヒマスカラ、之ヲ伺ヒタウゴサイマス

○堀田政府委員 第三項ノ勅令ニハ河川改修ニ依ッ

テ生ズル土地ノ増加、其他沿岸ノ整理變更ノ爲メニ土地ノ増加等ヲ指定スル見込デアリマス、併シ是等ノ場合ニ關スル取締ニ付テハ一般土木工事ノ取締ヲ以テ足リル考ヲ以テ、斯ウ云フ風ニ規定シタノデアリマス

○高木正年君 私ハモウ大體ノ質問ハ此邊デ止メ、後ハ逐條審議ノ際ニ讓ルコト、シ、尙ホ一寸内務省ノ大體ノ御意見ヲ今一ツ承ツテ、私ハ質問ヲ止メマス、過日モ私ハ豫算ノ二分科會ニ參リマシテ、丁度内務次官ヨリ御答ヲ得マシタガ、少シク満足シナイ點ガアリマスノデ、此公有水面ノ埋立法ニ付テ大ニ關係ヲ有シテ居リマスカラ、一應内務省ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、ト云フノハ、近來此社會政策ト云フコトニ付キマシテ、内務省デハ既ニ一局マデ設ケテ居リ、隨テ府縣ニ於テモ大ナル都市ニ於テハ社會問題ノ爲メニ、ソレノ施設ヲシテ居ルノデアリマス、此社會政策ナルモノハ世ノ中ノ進歩ニ連レテ、一面ハ人口ノ増加ヨリ來タル所ノ多クノ生活上ノ脅威ト、一面ニハ權力若クハ資力ニ依ル壓迫ヲ避ケル爲メニ、餘力アル人ガ之ヲ助ケ、尙ホ自ラ足ラザル所ヲ補ツテ生活ノ安定ヲ與ヘルニ在ルノデアアル、此意味カラ考ヘルト、水面所謂海面若クハ淡水水面ニ於ケル所ノ漁業ナルモノハ、最モ今政府ガ保護獎勵シツ、アル社會政策ノ活キタル、是ガ模範的ノ場所トデモ謂ヒマスルカ、陸地ニ於テハソレノ所有權ガアツテ、容易ニ他人ノ所有地ニ這入ルコトハ出來ナイ、又設備ノアル場所ニハ許可ナクシテ這入ルコトハ出來ス、ソレデ資本モ要レバ、色々手數ガ要ル、隨テ此點ニ付テ陸地ニ於テハ最モ餘計社會ノ壓迫ヲ感ズル、海面ハ一定ノ水面ニ對シテ自由ニ働クコトガ出來ル、機械ヲ持タズトモ船ヲ持タズトモ、唯ダ單身手足ノ働ケル者ハ海面ニ行ケバ、其日ノ生活位ハ出來ル、凡ソ社會政策ヲ要スル世ノ中ニ在リマシテ、社會政策的ニ國民ノ微力ナル者ノ生活ヲナスノハ、海面若クハ淡水水面ヨリ外ハナイト思ヒマス、此意味ニ於テ多數ノ漁民ハ今日生活シテ居リマスガ、近頃此埋立等ニ就テ之ガ間々脅威サレル、現ニ近頃平林氏等ガ出願シテ居ル東京灣ニ於ケル埋立等ガ出來マスレ

バ、漁民ハ權利デモ何デモナイ、漁業組合ト云フモノハ損害ヲ受ケナイ、併ナガラ廣イ海デ活動シテ居ル漁師等ハ、遠イ海洋ハ出ルノニハ船ニ乗ツテ行ク壯丁デナケレバナラヌ、子供デモ婆サンデモ、女デモ足腰ノ幾分カ伸ビル者ハ、二圓三圓——餌ヲ取ツテモ生活ガ出來ルカラ、然ルニ此自然ニ社會的ニ行ハレテ居ル最モ美シイ他盤ガ、近來埋立事業ガ大分行ハレテ、此法律ヲ見テモ權利ト云フモノノ設定ノアルモノニ就テハ、相當保護サレルガ、權利ヲ設定シナイ者、所謂從來多數ノ人ガ這入ッテ生活シテ居ル海面、又ハ淡水水面ニ就テハ本案ニ規定ガナイ、若シ此法案中ニ公益ヲ害スルモノニ對スル規定ガアレバ、宜イガ、公益ヲ受ケル者ノ消極的ノ規定ハアリマスケレドモ、積極的ニ多數ノ人ガ斯ウ云フ場合ニ生活シテ居ル者ヲ保護スル規定ガナイ、ソレ故ニ私共ハドチラカト云フト、市町村ニ對シテ意見ヲ聽クガ、市町村ノ外ニ是等ノ漁業組合ノ意見モ聽クト云フコトヲ是非此法案ニ規定シテ貰ヒタイト思ヒマス、之ニ就テ内務省ノ御意見ハ如何デアリマスカ、詰リ市町村ノ外ニ漁業組合ノ意見ヲ聽クコトニドウ云フ御異論ガアリマスカ

○小橋政府委員 高木サンカラノ今ノ問題ハ度々承リマシタガ、内務省ニ於ケル社會政策ノ施設、其他產業ノ施設、救濟施設等ニ就テハ、委員會又ハ分科會等デ説明致シマシタカラ、一般ノコトニ就テハ御承知ノコトト思ヒマス、而シテ今埋立ノ關係ニ就テノ御尋ガアリマシタガ、既得ノ權利竝ニ埋立區域内ノ或種ノ施設ニ依リ利益ヲ害スル場合ハ、別ニ規定ノアルト云フコトハ、御承知ノ通りデ、其意味ニ於テ第五條ニ就テ曩ニ土木局長ノ御答シタ通り、其地方ノ公益ニ關スルコトヲ考慮シテ、其埋立ニ就テ細民ガ職ヲ失ヒ、非常ニ困難ヲ來ス場合ニ於テハ、地方長官ガ細民ヲ保護スルコト云フコトヲ考慮シテ許スコトト信ツテ居リマスケレドモ、其市町村會ノ意見ニ依ッテ實狀ヲ參酌シテ許否ヲ決シマスカラ、漁業組合ニマデ其意見ヲ聽ク必要ハナイト思ヒマス、而シテ斯ウ云フ公益ナル事業ニ對シテ大キナル事業ヲ爲ス場合ニ於テハ、他ニ職業ヲ失フ場合ガアツテモ已ムヲ得

ナイト思ヒマス、電車ノ事業ヲ經營スレバ車夫ガ業ヲ失フ、公設市場ヲ經營スレバ小賣商人ガ業ヲ失フコトハ已ムヲ得ナイ、ソレ故ニ市町村ニ聽イテ許否ヲ決定スルコトニ致シタノデアリマス

○高木正年君 漁業組合ハ必ズシモ市町村ノ意見ト同一デナイ場合ガアリマス、廣イ町村デ僅カニ海ノ一部ヲ有スル時分ニ、漁業組合ト市町村ノ利害ガ一致シナイ場合ガアル、ソレ故ニ市町村ノ意見ヲ聽イタカラ、必ズ其通リト云フ譯デハナイ、其場合ニ漁業組合ノ意見ヲ聽クト云フコトニ御改メニナル方ガ、過去ニ於ケル漁業組合若ハ是等ニ依ッテ生活スル者ノ利益ヲ保護スル上ニ完全デハナイカト思ヒマスカラ、御尋シタノデ、矢張漁業組合ニ聽ク必要ハナイト云フノデアリマスカ

○小橋政府委員 漁業組合ノ意見ヲ聽ク必要ハナイト思フノデス、只今御尋ノヤウナ場合ハ、權利者デハナイ細民ガ漁業ヲヤツテ居ル場合デアツテ、組合トハ直接關係ガナイ、漁業組合ノ場合ニ於テハ、漁業法上ノ權利ヲ持ツテ居ル其ノ場合ニ於テハ、權利者ガ同意シナケレバナラヌノデアリマスカラ、當然漁業組合ニハ其法規ノ下ニ於テ同意ヲ求メル、唯ダソレト何ノ關係ナク、只今高木君ノ言ハル、ヤウナ例ガアルトスレバ、サウ云フ例ノ場合ニ於テハ寧ロ市町村ノ同意ヲ得レバ、漁民ノ職ヲ失フ者ガアレバ考慮シテ意見ヲ出スカラ、ソレデ足リルト考ヘテ居リマスカ

○淺野順平君 此法案ハ昨年ノ耕地整理法案ノ關係デ出ナケレバナラヌモノガ、今日マデ遲レタト考ヘマス、以前漁業法ヲ布カレヌ前ハ、池沼河川ニ於テ墾田干拓ナドハ容易デアツテ、地方廳ハ願ヘバ直グ出來テ、手續モ仕易カタガ、此十數年前漁業法ガ布カレテ、漁業權ト云フモノガ生ジテ此方、中々至難ニナツタ、今日デハ殆ド出來ナイヤウニナツテ居ル、ソレデ昨年耕地整理法ガ出來テ、ソレ等ガ種々便宜ヲ與ヘラレテ、今水面ノ出願者ハ澤山アルヤウニ見エマスガ、ソレニ就テ第五條第四條ノ漁業權者ノ同意ト云フコトデアリマスガ、此權利者ノ同意ト云フコトハ、僅カノ漁業者ナラバソレデモ宜イガ、多クノ同意ヲ

第五類第三十二號 公有水面埋立法案委員會議錄

得ルト云フコトニナレバ、漁業權利者ガ數千人數百人アル、是等ノ漁業組合ト稱スル其組合數モ亦數十モアル、數百モアル、是等ニ同意ヲ得ルト云フトキニハ、其組合ガ五十アルト假定スレバ、五十ノ組合全部ノ同意ヲ得ナケレバ、出來ナイト云フノデスカ、若シ其事業ノ公益ガ最モ大ナル時ニハ、不同意ガアツテモ構ハズ、地方長官ガ利害ヲ攻究シテ直チニ許可スルト云フ意味ニモ見エマスカ、是等ノ點ヲ詳シク御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○小橋政府委員 詳細ノ事ハ土木局長カラ申上ゲマスカ、今御尋ノコトハ中ノ困難ノ場合モアリマセウ、アリマセウカラ其場合ヲ豫想シテ第四條第二號ノヤウナ「其ノ埋立ニ因リテ生ズル利益ノ程度ガ損害ノ程度ヲ著シク超過スルトキ」斯ウ云フコトデアツテ、埋立ノ結果其利益ガ其損害ノ程度ヨリ非常ニ大ナル場合、而シテ漁業組合若クハ漁業者ガ同意シナイ者ガアツタ場合ニ於テハ、知事ガ押切ツテヤリ得ルコトト思ヒマス、併シ補償ノ問題ハ別デアリマス

○淺野順平君 サウスルト漁業者若クハ漁業組合ガ多數反對致シマシテモ、國ノ利益ガ大デアアル、即チ其處ノ水産ノ利益ヨリモ未ダ出來レバ其方ノ利益ガ大デアルト云フ場合ニハ、漁業者ニ多數反對ガアツテモ、地方長官ガ此條項ニ依ツテ許可スルト云フ意味デアリマスカ、ソレカラ町村ノ意見ヲ徵スルト云フコトガアリマスカ、是ハ一町村ナラ宜イガ、今申ス如キ場所ニ於テハ數十箇村モアル、サウ云フ場合ニハ、町村ノ意見ガ或ル場合ニハ一致セス、或ハ半分ハ賛成スルトカ、三分ノ一ハ可トシテ他ハ否トスルトカ云フコトモアラウ、併シ此町村ノ意見ハ唯ダ地方長官ノ參考ノ爲メニ徵セラレルト云フダケデアリマスカ、此三條ト云フモノハ

○小橋政府委員 今御尋ノヤウナ場合モ生ズルノデアラウト思ヒマス、今ノ場合、詰リ漁業者ニ其他ガ同意シナイ時デアツテ、而シテ水産上ノ利益モ大部分失フ、併シ其失フ損害ガ埋立テ、得ル經濟上ノ利益其他國家的利益ガ大ナル場合ニハ、假令多數ノ漁業者ガ損害ヲ被ツテモ、利益ノ大小ヲ比較考慮シテヤルカト云フ御尋デアツタト思ヒマスガ、ソレハ地方長官

ガ極ク深切ニ調査ヲ遂ゲテ、其埋立ニ依ツテ得ル利益ガ大ナリト認メルトキニハ、其埋立ヲ許スベキモノト信ジマス、勿論漁業者ナリ組合ニ對スル救済ハ他ノ條文ニアリマス、ソレデ救済スルコトニナルノデアリマス、ソレカラ關係町村ノ事デアリマスガ、關係町村ガ多數アリマストキニハ、其意見ガ一致致シマスマイ、ソレハ地方長官ハ參考ニ町村ノ意見ヲ聞クノデアルカラ、町村ノ意見モ十分尊重ハ致シマセウガ、埋立ニ反對ノ意見ガアツテモ、其利益ガ大ナリト認メタ場合ニハ、矢張許シテ宜カラウト思ヒマス、併シ地方長官ハ出來ルダケ圓滿ナル解決ヲ得ベキ行政上ノ手腕ヲ要スルダラウト思ヒマス

○高柳覺太郎君 公有水面ハ土地ノ一種ト認メテ差支アリマセスカ
○堀田政府委員 公有水面ハ水面デアツテ、水面ト認メテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ公有水面埋立ノ目的トシテハ、陸地ノ造成ヲ目的ニシテ居ルノデアリマスカラ、直チニ土地ト云フ考ハ持ツテ居ルノセヌ、ソレハ土地ノ上ニ水ガアルト考ヘテ居ルノデス

○高柳覺太郎君 土地ガアツテ其土地ガ水ヲ被ツテ居ルノ水面ト稱スルノデアツテ、此立法スル所ノ公有水面、沿革的ニ言ヘバ勅令デシタカ、公有水面ト名ケラレタモノハ、官有地ノ取扱ヲスルコトニナツテ居ルヤウデス、故ニ公有水面ハ官有地ノ一部デアルト解釋スルヤウニ思フノデスカ、ドウデスカ、例ヘバ普通水ヲ被ツテ居ルノガ田デ、乾イテ居ルノガ畑デ、木ノ立ツテ居ルノガ林デアアル、水面ト云フノハ土地ノ上ニ水ガ被ツテ居ルト云フ形デアアル、故ニソレハ矢張土地ト看做シテ宜イヤウニ思ヒマスガ、ドウデスカ

○堀田政府委員 只今公有水面トハ其處ニ土地ガアリ、其上ニ水ガアルト御答シタノデアリマスガ、無論陸地デアアルカト云フ廣イ意味ノ御尋デハナカラウト思ヒマス、廣イ意味ナラ土地ト云フコトガ出來ルカ知レマセスカ、從來ノ法令デハ之ヲ分ケテ居ルノデス、官有地取扱規則ニ於キマシテモ、官ニ屬スル公有地及公有水面ト分ケテアリマス、其意味ニ於テ所謂公有地デハナイト先程申上ゲタノデス

○高柳覺太郎君 サウスルト此法律ニ依ツテ埋立テタ水面ハ何ニナルノデスカ、埋立出願者ガ竣工ノ曉ニハ所有權ヲ取得スルト云フコトデアリマスガ、其取得シタモノハ無論土地デアリマセウガ、其地目ハ何ニナリマスカ

○堀田政府委員 公有水面ノ埋立ト云フノハ、申スマデモナク陸地ヲ造成シ、其陸地ノ所有權ヲ得ンガ爲メニ埋立行爲ヲスルノデアリマシテ、所謂竣工認可ヲ得テ埋立權者ガ所有權ヲ獲得スルマデノ間ハ、是ハヤハリ公用ニ供セラレテ居ルモノト見テ、何人ノ所有ニモ屬シナイ、國ノ所有シテ居ル水面ト看做シテ居ルノデス

○高柳覺太郎君 埋立ガ出來テ竣工ノ曉ニ所有權ヲ出願者ガ得ルト云フコトハ無論デアリマスガ、其地目ハ何デアリマスカ、埋立テ畑ニスレバ畑ニナル、田ニスレバ田ニナル、斯ウ云フノデスカ
○堀田政府委員 地目ト云フノハ埋立テル迄、竣工検査ヲ受ケル迄ノ認可デスカ
○高柳覺太郎君 竣工後デス
○堀田政府委員 ソレハ地目モ民有地ニナルノデス
○高柳覺太郎君 田トカ畑トカ宅地トカ……
○堀田政府委員 ソレハ田トカ畑トカ増成スル目的ヲ以テ埋立テ出願シ、埋立工事ヲ終ツテ竣工ノ認可ヲ與ヘレバ、竣工認可ノ日ヨリ原始的ニ其所有權ヲ埋立權者ガ得テ、サウシテ畑ノ爲メニ埋立テタナラバ畑ト云フモノニナツテ登記サレルトニナルノデアリマス

○高柳覺太郎君 出願當時ノ目的ニ依ツテ地目ガ決スルト解釋シテ宜シイデスカ
○堀田政府委員 サウデス
○高柳覺太郎君 サウシマスト養殖事業ノ爲メニ水面ヲ埋立テルト云フ出願ハ、是ハ許可シマスカドウデスカ

○堀田政府委員 ソレハ事實ニ依ツテ判定スルヨリ外ナイ、例ヘバ單ニ水面ニ柵ヲ設ケテ、一寸水面ニ區劃ラシテ、多クノ場合ソレハ公有水面ノ占用ノ許可ヲ受ケテヤラネバナリマセスカ、サウ云フ場合ニハ所謂埋立テナイノデアツテ、公有水面ニ單ニ制限ラシ

テ養魚池ヲ造ッタニ過ギナイト云フ解釋ト考ヘマス
○高柳覺太郎君 水ノ淺イ所ナラバ唯ダ一時區劃ヲ
シテ、堤防ナラバ堤防ヲ築イテ、養魚池ナラバ養魚池
ニシマスガ、深イ所ハ一部ハ埋立テ、一部ハ埋立テ
テモ矢張水ヲ被ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ埋立
ハ埋立地ニ合マレテ居ナイト解釋シテ宜シイカ

○堀田政府委員 要スルニサウ云フ場合ハ、埋立ト
云フ文字ハ普通社會觀念ニ依ッテ決定スルヨリ外ナ
イト云フ考デアリマス、假ニ外海ト區別スル爲メニ、
大キイ堤防ヲ築造シテ繞ラシテ、其中ニ方數里モア
ルト云フ水面ヲ造ツタ場合、サウ云フ行爲ヲ埋立ト見
ルカト云フ問題モ起ッテ來ルノデアリマスガ、サウ云
フ場合ニハ實際其養魚池トシテノ目的ヲ達スルニ
ハ、公有水面ノ占用ヲ以テサレルノデアリマスシテ、所
謂社會觀念デ埋立ト云フ行爲ニ考ヘナイデ、言換ヘ
テ見マスレハ陸地ノ造成ト云フ行爲ノ地目ニナル、
デ是等ハ直チニ埋立トシテ見ナイト云フ事ニナッテ
來ル、之ヲ私ハ埋立地トシテ取扱フノハドウデアラ
ウカ、併ナガラ茲ニ僅カ數百坪ノ海面ヲ、大部分ハ埋
立テ、一部ニチヨットシタ魚ヲ生ス場所ヲ造ツテ置キ
タイト云フ風ナ場合ハ、ソレハ全體カラ觀察シテ、埋
立ト普通ニ見ルナラバ、埋立法ニ依ッテソレハ、工事
方法設計ヲ定メテ許可ヲ受ケレバ、埋立地トシテ扱
フコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○高柳覺太郎君 是ハ實際デアリマスガ、海面湖沼
ヲ一部ノ埋立的ノ工事ヲシテ、堤防等ヲ築造シテ養
殖場ヲ拵ヘルノハ、矢張他ノ水面トカ畑ヲ造ルト同
ジ様ニ相當ノ工費ガ要ル、又其出願ノ目的ハ結局ニ
於テ其出願者ガ所有權ヲ得ナケレバ、所有權ヲ得ル
途ハ現在ニ於テハナイノデアリマスシテ、甚ダ事業家
ハソレニ對シ困難スル様ニ思ッテ居リマス、是等ノ養
殖場ヲ設ケルト云フヤウナモノハ、他ノ水田トカ畑
トカ云フモノヲ埋立テルト云フノト同様に組織デ以
テ、其工事營業者ニ所有權ヲ得セシムベキ規定ガ欲
シイト思ヒマスガ、其等ニ對スル考ハアリマセヌカ
○堀田政府委員 此案ノ趣旨ハサウ云フ場合ハ含
マセヌ考デ規定ガ出來テ居リマス、全ク埋立ト云フ
文字ノ社會觀念ニ依ル御解釋ニ依ッテ總テノ事物ヲ

決メヤウ、併シ一面ニ於テサウ云フ行爲ヲ許ス場所
ハ、多クハ公有水面トシテ引續キ存置セシムルノ必
要ナキ場合、多クハ占用或ハ埋立ト云フ事ヲ許スノ
デアリマスカラ、政策トシテ若シ漁業ノ獎勵發達ノ
爲メニ、今ノヤウナ場合ニ所有權ヲ與ヘタ方ガ宜イ
ト云フノモノ一ツノ議論デアラウト思ヒマス、其等ニ
就テ又内務省トシテハ、只今申上ゲタヤウナコトガ、
此立法ノ當初ノ考デアリマスガ、尙ホ研究ヲシテ果
シテドウ云フ程度マデヲ埋立トシテ、此本案ヲ適用
シ、若クハ準用シテ所有權ヲ與ヘルヤウナ處置ヲ執
タラ宜イカドウカト云フコトヲ、十分攻究シテ見ネ
バ、ハッキリシタ御答ハ出來マセヌ

○高柳覺太郎君 舊法ヲ整理シテ今回水面埋立法ヲ
特ニ立法セラレタノデアリマスルカラ、必ズヤ所管
官廳デハ此埋立ト同一類似ノ所謂養殖場ヲ設置スル
ヤウナコトハ御考ノ中ニ必ズアッタラウト想像スル
ノデスガ、何モ海面ヲ埋立テ、畑ニスルノモ、水田ニ
スルノモ、養殖場ニスルノモ、實際ニ於テハ少シモ違
ツタコトハナイ、ソレデ一ツハ海面埋立トシテ所有權
ヲ許ス、現在ニ於テモ許サレテ居リマスケレドモ、同
ジ類似ノ事業デアッテ、埋立ト云フ言葉カラ言ヒマス
ト、養魚場デモズット全部埋立テタノトハ多少水ガ被
ツテ居リマスカラ、違ヒマスケレドモ、併ナガラ所有
權カラ云フト同一結果デ、出願者ニ對シテ同一ノ效
果ヲ奏セシメナケレバナラヌト、思フノデアリマス、
然ルニ養殖場ヲ設ケルトシテハ、水面使用ヲ許スト
云フダケデアアル、營業者ガ最モ希望スル所有權ヲ獲
得スル方法ガナイノハ、非常ニ現法ノ缺點デアルト
思ヒマス、此法律ヲ特ニ整理シテ設ケルト云フ以上
ハ、此築造ノ如キモノヲ此法律ノ下ニ、同一規定ノ下
ニ規定サレルト云フコトガ、適當デアルヤウニ思ッテ
居リマス、併ナガラ養殖場ノ如キハ、是ハ埋立テデナ
イト云フ譯デアリマスレバ、此法律ノ規定ヲ埋立ト
シナイデモ、公有水面ニ關シモ少シ廣イ意味ヲ持
タシテ、其規定ノ下ニ同ジク此中ニ含マシテ規定ス
ルコトガ出來ルヤウニ思ヒマスガ、何トカ考ヘナイ
モノデセウカ

○堀田政府委員 只今高柳サンノ御話ヲ承ルト云フ
ト、非常ニ金ガ掛カル場合ノミヲ豫想サレテノ御話
デアリマスガ、實ハ其點モ研究シテ居ルノデアリマ
ス、例ヘバ僅カニ纖弱キ柵ヲ繞ラシテ、鯛トカ鯉トカ
云フモノヲ養殖スル——養殖ト云フヨリハ却テ生洲
ト言ツタ方ガ宜イ、斯ウ云フモノヲ造ル場合、而モ其
區域ガ澤山ナ區域ヲ取ッテ、サウシテ費用ト云ヘバ僅
カ數千トカ、數万トカ云フ金ヲ使ッテ、何百町歩ト云
フヤウナ水面ヲ、ソレヲ若シ完全ニ埋立テレバ數百
万ノ價モアルト云フ水面ヲ、ソレダケノ加工ヲシタ
カラト云ウテ、直ニ所有權ヲ與ヘル事ガ果シテ適當
ナルヤ否ヤ、柵ガ壞レレバ直ニ養魚池トシテノ目的
ヲ達スルコトモ出來ズ、隨テ單ニサウ云フ水面ノ所
有權ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、實際問題トシテ、ド
ウデアラウカ、サウ云フコトヲ考慮致シマシテ、之ニ
ハ入レナカッタノデアリマス、デアリマスカラ實際ノ
問題トナッテ現レテ來マスレバ、設計ノ如何其他ヲ見
テ、矢張養魚池ノ如キハ埋立ト法條ヲ準用シテモ宜
イ場合モアリ、又準用セザルヲ適當トスル場合モ起
テ來ヤウト思フノデアリマス

○吉川吉郎兵衛君 一寸伺シマスガ、埋立ノ區域ト
カ、出トカ云フモノニ就テハ、先程土木局長カラ御話
ガアリマシタガ、満潮ノ時ニ潮ガ來タ、ソレヲ起點ト
シテ何ボノ出ト云フヤウナ一定ノ御方針ハナイノデ
アリマスカ、唯ダ其時々ニ出願ヲシタ時分ニ、海軍省
ノ方ノ規定モアリマセウガ、其邊ノ事ヲ考慮サレテ
其時ノ場合デ地形ヲ見テ御許シニナルノデアリマス
カ、或ハ一定ノ方針ガアルノデゴザイマスカ、其満潮
ノ時ニ潮ノ來タ處ノ出何ボト云フコトハ

○堀田政府委員 只今ノ御尋ハ満潮時ノ境カラ海ノ
方ニ幾ラダケ埋立テサセルト云フ定マリガアルカト
云フ御尋デアリマスカ

○吉川吉郎兵衛君 サウデス
○堀田政府委員 ソレハ別ニ原則トシテ定ツタモノ
モ何モ無イノデゴザイマス、其水面ガ公有水面トシ
テ存置セシメ置ク必要アルモノ、言換レバ公益上其
他カラ見テ、詰リ船ノ通航ノ關係、或ハ潮流ノ關係、
其他諸種ノ事情ヲ調査致シマシテ、此處ハ埋立テサ
セテモ差支ナイト云フ其場所ニ就テ埋立ヲ許可スル

考デアリマシテ、別ニ此場所ハ此處迄デアルト云フ
 ヤウナコトハ、是ハ技術的ニ篤ト調査ヲシテ見ナケ
 レバ御答シ兼ネル事柄デアリマシテ、其場合々々ニ
 依ッテ判斷スル外ナイト思ヒマス

○吉川吉郎兵衛君 場合々々ニ就テ潮流ノ關係トカ
 種々ノ事ヲ斟酌シテヤルダケデ、一定ノ方針ハ是ニ
 ハ無イノデアリマスカ

○堀田政府委員 左様デゴザイマス

○委員長(小山田信藏君) 本日ハ是デ散會致シマシ
 テ、次回ハ明後日四日ノ午前十時ヨリ開キマス
 午後零時十四分散會